



# 一月(大) 睦月

## 房宿

一月五日小寒の節より  
月命辛丑九紫火星の月  
暗剣殺南の方

旧十二月大  
正月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	満潮	干潮
1日	日	つちのえ	七赤	元日、年賀、初詣、歳旦祭、修正会、初子、一粒万倍日(旧暦十二月大)	四	先負	たつ	虚	万よし	6.51	16.39	8.39
2日	月	つちのとう	八白	振替休日、初荷、初夢、書初め、皇居一般参賀	五	佛滅	のぞく	危		6.51	16.39	9.19
3日	火	かえとら	九紫	福岡笹崎宮玉せせり、初寅、三隣亡、不成就日	六	大安	みつ	室	きこ	6.51	16.40	9.57
4日	水	かのと	一白	官庁御用始め、初卯	七	赤口	たいら	壁	●	6.51	16.41	10.33
5日	木	みつえ	二黒	小寒(二時五十分、初水天宮、旧こと納め)	八	先勝	たいら	奎	大みやう	6.51	16.42	11.09
6日	金	みつと	三碧	上弦四時四十分、六日年越し、公現祭(初巳)、東京消防出初式、高崎だるま市、天一天上	九	友引	さだん	妻	母倉	6.51	16.43	11.45
7日	土	きのえ	四緑	七草、人日、三隣亡、福岡太宰府天満宮うそ替え・鬼すべ	十	先負	とる	胃	神よし	6.51	16.44	12.24
8日	日	きとひ	五黄	東京鳥越神社とんど焼、初葉師	十一	佛滅	やぶる	昂	大みやう	6.51	16.44	13.06
9日	月	ひのえ	六白	成人の日、宵えびす、京都西本願寺報恩講(16日迄)	十二	大安	あやぶ	畢	神よし	6.51	16.45	13.53
10日	火	ひのと	七赤	学校始業、十日えびす、初金毘羅、一〇番の日	十三	赤口	なる	觜	●	6.51	16.46	14.45
11日	水	つちのえ	八白	鏡開き、歳開き、不成就日	十四	先勝	おさん	参	ぶく日	6.51	16.47	15.43
12日	木	つちのと	九紫	望(二〇時三四分、初亥)	十五	友引	ひらく	井	ぢう日	6.51	16.48	16.47
13日	金	かえ	一白	一粒万倍日	十六	先負	とづ	鬼	月とく	6.51	16.49	17.50
14日	土	かとう	二黒	十四日年越し、大阪四天王寺どやどや、仙台どんと祭	十七	佛滅	たつ	柳	十し	6.51	16.50	18.54

冠婚葬祭とは、わが国古来よりの礼法で、加冠、婚礼、葬礼、祭祀の四つを略していつたものである。暦に即したものを中心にして、そうでない一般的なものは適宜に配置した。

〔冠〕これは、加冠(戴冠)の儀という男子の元服を代表にしたもので、人間が成長し、人格が形成されていく段階において行われ、数々の儀式的総称である。

一月の冠儀は、成人式(二月第二月曜日)に極まる。これは、法的に満二十歳になった青年男女が、自覚してめでたく果立つことを祝福する日として国民の祝日となっている。

〔婚〕婚姻、婚礼は、季節にほとんど関係がなく、寒中であれ暑中であれ、日柄さえよければ挙式するならわしであるが、農家では比較的ひまな一月に式を挙げることが多い。

〔葬〕生者必滅、たとえ王者といえどもこれを避ける者はなく、そしてその命尽きたとき、季節を問うものでないことはもちろんである。従って葬儀そのものは、一月に大きな関係はないが、この月七日までのいわゆる「松の内」は仏式では葬儀を差し控えるならわしである。

〔祭〕暦とは切っても切れないのが祭祀、遠い祖先から伝わった「お祭り」の年中行事である。

年の初めの「元日」。一年間の出発点として、数々の風習が伝承されています。初詣、年始回り、門松、鏡餅、若水、屠蘇、雑煮、おせち料理……等、地方により家庭により、多少の差異はあるが、ほとんどの人がこの日を祝う。

三日までを「三日」とい、その間の二日は初荷、初夢、書初め、仕事始め……など縁起を祝う。

七日は「七日正月」とい、十五日は「小正月」とい、それぞれ習慣による祭事を行うが、七日の「七草がゆ」については、冬期のビタミン補給だとする合理的解釈もある。

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	共宿	下段	日出入	満潮	干潮
15日	日	みつと	三碧	小正月、小豆がゆ	十八	大安	のぞく	星	大みやう	6.50	16.51	19.57
16日	月	みつと	四緑	やぶ入り、糞日、えんま詣り、真宗本派親鸞聖人忌、一粒万倍日	十九	赤口	みつ	張	大みやう	6.50	16.52	20.57
17日	火	きのえ	五黄	土用七時四十分、防災とポランティアの日、秋田太平山三吉神社梵天祭、臘日	廿	先勝	たいら	翼	大みやう	6.49	16.53	21.56
18日	水	きのと	六白	初観音	廿一	友引	さだん	軫	大みやう	6.49	16.54	22.53
19日	木	ひのえ	七赤	三隣亡、不成就日	廿二	先負	とる	角	神よし	6.49	16.55	23.48
20日	金	ひのと	八白	大寒六時二四分、下弦七時一三分、二十日正月	廿三	佛滅	やぶる	亢	くま日	6.48	16.56	24.46
21日	土	つちのえ	九紫	初大師	廿四	大安	あやぶ	氐	神よし	6.48	16.57	25.43
22日	日	つちのとう	一白	黙阿弥忌	廿五	赤口	なる	房	●	6.47	16.58	26.41
23日	月	かえ	二黒		廿六	先勝	おさん	心	百事吉	6.47	16.59	27.38
24日	火	かのと	三碧	初地藏、東京巢鴨とげぬき地藏尊大祭	廿七	友引	ひらく	尾	大みやう	6.46	17.00	28.36
25日	水	みつと	四緑	初天神、東京亀戸天神うそ替え、法然上人忌、八せん始め、一粒万倍日	廿八	先負	とづ	箕	くま日	6.46	17.01	29.33
26日	木	みつと	五黄	文化財防火デー、道元禪師誕生会、天理教本部春季大祭	廿九	佛滅	たつ	斗	十し	6.45	17.02	30.31
27日	金	きのえ	六白	国旗制定記念日、不成就日、小田原道了尊大祭	卅	大安	のぞく	牛	万よし	6.45	17.03	31.28
28日	土	きのと	七赤	朝九時〇七分、旧元日、初不動、雲大社福祭、奈良若草山焼き、旧丁酉正月小	朔	先勝	みつ	女	大みやう	6.44	17.04	32.26
29日	日	ひのえ	八白		二	友引	たいら	虚	大みやう	6.43	17.05	33.23
30日	月	ひのと	九紫	不成就日	三	先負	さだん	危	母倉	6.43	17.06	34.21
31日	火	つちのえ	一白	三隣亡	四	佛滅	とる	室	神よし	6.42	17.07	35.18